

質問事項等	
● 町民満足度調査（資料3-2） p.3 「47の分野別施策における『重要度』と『満足度』」について	
意見	回答
<p>この表の2列目「番号」とは、各施策を管理するためのIDなのでしょうが？また、これらの施策は、第5次後期基本計画の中で決定された施策でしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「番号」は、管理番号ではなく、アンケート調査のために割り当てた番号です。</li> <li>● 施策は、第5次後期基本計画で位置付けたものです。現行の施策は、全61施策あるため、アンケート回答者の負担を減らすことを目的に、一部、施策を統合した形で表記しています。（例、「商工業の振興」+「中小企業への支援」⇒ 商工業の振興(商店街・中小企業支援、融資制度、企業支援、二宮ブランド支援 等)</li> </ul>
<p>p.4 の「『満足度』×『重要度』の施策分布」を「第5次二宮町総合計画後期基本計画」p.17下部に掲載されている「（第5次）中期基本計画の評価における重点改善分野」と比較すると、右下の重点改善分野に分類される施策の割合が減少していることが見て取れ、町職員をはじめ、関係者の方々の活動の成果が現れているものと推察しました。一方で、施策の総数が異なるため、割合で表していただけるとより比較がしやすいように思いました</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前回との比較がより見やすくなるため、「町民満足度調査結果（完成版）」への表記追加を検討します。</li> </ul>
<p>各施策をどのように管理されているのかが気になりました（期をまたいで継続して取り組む施策は同じ ID のまま管理するなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 統一のIDを付与しての管理は行っていません。</li> <li>● 各施策の下には、複数の予算事業が位置付けられており、予算事業ごとに毎年行政評価を行って、進捗を管理しています。</li> <li>● 基本計画を更新する際には、施策と予算事業の見直しを行うため、期をまたいだ場合、同じ施策名（若しくは予算事業名）等が必ずしも使用されていない可能性があります。</li> </ul>
<p>このアンケートは、民意を行政にできるだけ反映するために行っているものですので、集計値としては平均値よりも中央値が適切なのではないかと感じました。中央値で集計すると、この満足度×重要度マトリックスの見た目も少し変わるかもしれません</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前回のアンケート調査と全体的に比較するため、今回は、「平均値」を使用しました。</li> <li>● 中央値での分析のメリットも十分考えられるため、基本計画の策定に向けて、中央値の算出を検討します。</li> </ul>
● 「第6次二宮町総合計画の体系（案）」（資料4）	
意見	回答
<p>基本計画&gt;重点的方針の①と②がどのような整理なのか、手元の資料からは読み取れませんでした</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重点的方針は、基本計画期間の5年間で、重点的に進めるべき取組を指すもので、施策を横断するものを今後設定する予定です。</li> <li>● 資料4の①②は、イメージしやすいように仮で表記しているもので、今後、重点的方針の数や内容を検討していくこととなります。</li> </ul>

● オープンハウス、オープンデータ	
意見	回答
「オープンハウス」施策について：町民の IT リテラシーの差にも配慮した、チャレンジングで素晴らしい取り組みと思います	—
<p>もし差し支えなければ、各種アンケートやワークショップで集計されたデータや意見は、オープンデータにすることが望ましいと考えます。以下のような利点があるでしょう：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町民の生の声を起点として、町民に必要とされる新ビジネス誕生のきっかけとなる</li> <li>● 小学校の自由研究から大学による学術研究まで、広く活用される</li> <li>● データハッカソンを開催するなどして、アンケート集計・分析業務の負担を軽減できる</li> <li>● 町のブランディングにつながる（オープンデータが整備された自治体は IT 人材から見るととても魅力的に映る）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンデータの利活用については、ご提案のようなメリットがあることは理解しておりますが、オープンデータ化に向けたルール作りがまだ進んでいませんので、今後、役場全体で検討していきます。</li> </ul>

## ① 基本理念と10年後の将来像について

●町としての全ての活動は町民憲章に沿う形で行われるべきですので、階層構造をもつ総合計画の最上位が町民憲章を参照する形になったことはとても合理的と感じました。これは同時に、町民憲章の形骸化も防ぐ効果もあると考えます。

●基本理念の「教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう」という文面は、「かおる」という修飾語がかかる先は「豊かなか」「二宮町」のどちらでしょうか？

①教養を高め、文化のかおり豊かな二宮町をつくりましょう

(文化の香りがたくさん感じられる二宮町という意味)

②教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう

(教養があり、文化の香りがして、それによって何かが豊かになる二宮町という意味)

●10年後の将来像に「お互いに認め合うことできる受容性の高い心を育む」という意味のことばを入れる必要があると思います。男女共同参画、ジェンダーギャップ解消、異文化受容が求められる昨今の志向にも配慮した言葉があると、その風潮を取り入れた受容性が高い町づくりの印象も高まると感じました。

●まちづくりの根幹となる町民憲章の基本理念を、あらゆる情報を使用して町民全体に浸透していくことが望ましい。時代の流れに沿った将来像である、だれひとり取り残さない理念を中心に10年後の二宮がより住みやすく笑顔溢れる場所となってほしい。

●各基本目標が大変具体的でわかりやすいものであるのに対して、40年以上前に制定された町民憲章自体が今の時代に見合うように、多様性を含めた内容に見直すべきではないだろうか。

●10年後の将来像については、拝見すると「②まちづくりの基本目標」の記載を総花的にまとめている印象があるので、もう少し重点的に目指していくまちのありかたを表現できるといいと思う。

●具体的には、観光振興による経済効果を目標とするのか、それよりも住民にとって住みやすいまちづくりを優先するのか等、基本的に目指す姿を見える化できないか。

●二宮町町民憲章は、将来像を進めるために必要なものですので、町民の理解が必要です。

●10年後の将来像では、町民が安らぎを感じるのは、人のやさしさにふれた時なので、町の魅力へと育てていただけますこと願います。

●町民と町の協力によって町づくりを進めるにあたって、時代の変化が著しいこの時代、柔軟性はとても重要である。特に今までの慣習的な組織体制からの脱却が求められる昨今、行政には柔軟性を持って町民との連携を取る姿勢を示されたい。

●二宮町町民憲章が基本の理念ではあるが、町民のそれに対する意識や認知度が高いとは思えない。基本構想設定のこの機会に、町民憲章を時代の変化や流れの中で検証し、見直しを提案して、それを通して町民の参加意識を高められたら良いと思います。

●アンケートに示されている通りの町の特徴①豊かな自然②人と人の支えあいや多様性を受け入れる風土 を掲げて、二宮町の魅力を発揮出来る持続可能な町づくりを推進したいものです。

## ① 基本理念と10年後の将来像について

- 字句の加筆、修正により意味が通りやすくなると思われます。
- 町民憲章を中核に据えた表現が、導入部では必要と考えました。また二宮町の特性（自然豊か）は冒頭で謳っておくことが独自性につながると思いました。

### （１）基本理念

二宮町は豊かな自然環境の中で、明るく豊かなまちの発展を願い、町民と行政が力を合わせてまちづくりを推進するため、昭和53年に二宮町民憲章を制定しました。令和5年度からスタートする第6次二宮町総合計画では、町民の豊かな暮らしの実現に向けて、改めて二宮町民憲章をまちづくりの普遍的な「基本理念」に据えて、町民と行政の協力により、まちづくりを進めていくこととします。

### （２）10年後の将来像

（案）「豊かな自然と心を育み、つながる人と人。笑顔あふれるまち 二宮」

→合成案を作成しました。ポイントは、①冒頭で二宮町の最大の特徴（自然）を出すこと、②主体である人（町民）、そして人と人との関係に言及、③結果としての笑顔（幸せ）、で締めくくる

### ○ 説明

二宮町は、緑あふれる山と穏やかな海に囲まれ、温暖な気候に恵まれた地域であることに加え、他者を受け入れる懐の深い町民性により、地域で支えあう温かい文化を育んできました。しかし、全国的に進展している人口減少・少子高齢化は、町特有の支えあいの文化だけでなく、産業・福祉・教育・都市基盤と様々な分野に影響をもたらす大きな問題となっています。また、近年頻発している地球温暖化の影響を受けた豪雨等の自然災害や、新たな感染症の出現なども、安心して安全な日常生活を営む上での脅威になっています。これらの問題に適切に対応し、二宮町の特徴である豊かな自然や支えあいの文化、多様性を受け入れる風土といった魅力を、未来を担う子どもたちに受け継ぐことができるよう、様々な取り組みを持続可能な形に変えていく必要があります。この必要な変革を進めるうえで、「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念を基盤として、町民の皆さんから寄せられたたくさんの想いを未来へつないでいけるようにと願いを込めて、「10年後の将来像」を掲げます。

● 町民憲章は、素晴らしい内容だと思いますが、40年以上前に定められたものということで、時代の変化に合わせて議論を要する部分というのではないのかどうか、少し気になりました。

たとえば、「きまりを守り」はよいことだと思いますが、ともすると、常識にとらわれない斬新な発想の取組みを抑制する面もありうるかと思いました。

● 基本目標には「にぎわいのある活力に満ちた」という産業的な発展をイメージさせる項目が含まれていますが、基本理念と10年後の将来像には、これと対応するキーワードが見当たらない気がします。これは、産業的な発展を無理には追求せず、落ち着いた住みやすさを指向するというような意思の表れでしょうか（個人的には、結構なことだと思います）。

② まちづくりの方向性（基本目標）について

●各種アンケートやワークショップなどを通じて町民から収集した意見が反映されていることが読み取れました  
●「基本目標」の文言について：私個人としてはこれまでの「まちづくりの方向性」という表現には特段の違和感を覚えませんでした。これを敢えて変更するのであれば、「目標」には達成し、完了することが可能な性質をもった事ながらを指すニュアンスが含まれることに注意が必要と感じました。恐らく、ここで列挙されているのは町として継続的に維持してゆきたい事からであり、「方針」「指針」、あるいは「ビジョン」のようなものではないでしょうか【関連箇所：全体】

●必要な項目は網羅されているように感じます。その一方で、次代に即した行政の運用方法や教育システムの積極導入も視野に入れるべきだと感じました。【関連箇所：（１）（７）】

●行政運用はデジタル化の推進や西暦表記（和暦のみから西暦主体和暦併用）への移行に取り組むべきだと思います。一見すると小さなことのようにですが、広くみればグローバル化の一端かも知れません。【関連箇所：（７）】

●学校教育は単級化の学校が増え、公教育の根幹である集団での学びが損なわれつつあります。子どもたちの多様性が広がり(学びのスピードや志向の違い他)きめ細やかな対応が求められているにもかかわらず、先生方のパワーが分散してしまっているのが実情です。次代に即した学校システムへの移行(小中一貫教育)と学校施設のコンパクト化(学校統合＝先生パワーの集結)に向かうコンセプトが必要だと思います。【関連箇所：（１）】

●（１）子どもたちの…の文面は、自分自身を磨く力量という内容だけではなく、他者との関わりを大切にして共生する力量も育むという意味で「主体性と協調性をもち…」という表現にしてはいかがか。【関連箇所：（１）】

●各分野での方向性がとても理解しやすい。

●基本目標①の子育て・教育の分野では、ぜひ二宮町独自の子どもの権利条例があると子どもを守り、支えあって生活できるように感じる。【関連箇所：（１）】

●デジタル化が進む中で、追いつけない年代の方々もいるので、全てにおいてデジタル化にしてしまうのはいかがなものかと思う。誰一人取り残さない目標があるのであれば、そのあたりも考えていかなければならない。【関連箇所：（７）】

●方向性については、住みなれた土地で自分らしく暮らせるよう地域住民の方が支え合い、生きがい、地域とともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向け、まい進して頂けますこと望みます。【関連箇所：（２）】

●人口減少・少子高齢化で財政状況が更に厳しくなることが想像される中、ICT化により効率化・簡略化できる部分と、人や自然環境などICT化できない大切な部分とを明確にする必要性を感じている。これにより町づくりの焦点となる部分にメリハリが出るのではないかと思う。【関連箇所：（７）】

●第5次総合計画の基本構想の設定の課題、反省に基づいて第六次計画の町づくりの方向性（基本目標）の設定がされていると思いますが、その課題と反省点の再確認と審議会内での共通認識づくりが必要と思われる。【関連箇所：全体】

●7項目の基本目標と土地利用構想の基本方針と目標の関連を明確にする必要があると思います。現在提案中の施設計画と基本構想の整合性の提示は必須です。【関連箇所：全体】

## ② まちづくりの方向性（基本目標）について

### ●全体のコメント

7つの「基本目標」の並び順について。意味のある順序である必要があると思われます。現状の提案順序についての考え方もお聞かせいただければ幸いです。【関連箇所：全体】

### ●個別コメント

(1)

修正案「豊かな自然の中で、**妊娠から出産・子育ての各段階で切れ目ない支援を行い**、心のゆとりをもって子どもを産み、地域に温かく見守られながら、誰もが安全・安心な子育てを行うことができる環境の整備を推進します。【関連箇所：(1)】

(2)

この内容で、施策分野が、子供から高齢者までを横断していればOKです。（高齢者寄りの目標にみえたので）【関連箇所：(2)】

(3)

①「防犯力」が違和感です。もしもこの項目に入れるのであれば、基本目標を「人と地球にやさしい安全で持続可能なまち」としたほうがよい。もしくは(5)に安全を移動するか。（個人的には(5)に移動したほうが、(3)の目標が際立つように思いました）。

②施策分野の「安全安心」削除→あらゆる目標にかかわる内容なのでここだけ入れておくと違和感

【関連箇所：(3)】

(4)

修正案「自然や歴史、文化などの豊かな地域資源と人のつながりを生かして、人材育成や経営支援・**創業支援を行い**、農林水産業、商工業を振興し、事業に携わる誰もがやりがいをもって**事業に取り組むことができる**まちを目指します。また、**二宮らしい観光資源を活用した**観光情報の提供、誘客宣伝活動を行って、交流人口の増加による経済の活性化と、**町内外に二宮の魅力発信**を推進します。（ここで移住の促進もくわえたらどうか？）【関連箇所：(4)】

(5)「防犯」に伴う安全についてはこちらに挿入してはどうか？【関連箇所：(5)】

(6)「町の歴史や文化への誇り**をもち**、学びを通じた生きがいがあるまち」

「学習活動やスポーツ活動を通じて、町民が**世代にかかわらず生き生きと**充実した生活を送ることのできるまちを目指します。」【関連箇所：(6)】

(7)「きずなを**深め**、・・・」【関連箇所：(7)】

●(3)と(5)にまたがるかもしれませんが、エネルギーについてのビジョンを含めてほしいと思いました。資料(2)の中にも示されているとおり、今後、すべての自治体が脱炭素化を求められます。町内で再生可能エネルギーをいかに増やしていくかを考えるべきだと思います。これは地域で自立したエネルギーの割合を増やすことで地域でお金を循環させることや、災害で系統電力が止まった時などの非常時の電源を確保することといったメリットにつながります。また、自然と調和した形で進められる必要があります。同時に、高断熱住宅や電気自動車の普及も進められるべきだと思います。【関連箇所：(3)(5)】

### ③ その他（全体）について

●高齡化がますます進み就労人口が減少し、町としての財源減少が危惧されます。それゆえ、町全体の高効率化を目指し、「削るところは削る、盛るところは盛る」というメリハリの効いた行政運用が必要だと感じます。「言うは易し行うは難し」だと思いますので、①に記載した町民相互にお互いの事情を理解しあえるような受容性が高い町づくりがより一層求められていくと感じます。

●既存文化を大切にしつつ、高効率化を図ることは幾多の困難（二律背反）を伴いますが、少子高齡化の波は避けては通れないものと思います。思い切った施設統廃合と高効率運用が求められているため、次代を見据えたコンパクトシティ構想が必要な時期にあると思います。

●パブコメ前の段階でいぬいに住民意見を収集・分析されている一方で、今回提示された基本目標（案）が住民のどの意見をどの部分に反映したのかよくわからない。パブコメ時には反映状況を一覧にして公表すると思うが、この段階でも概括的でよいので、住民意見の反映状況が見える化できないか。

●小中学生のアンケートやワークショップでの声を反映するためにあらゆる分野で検討されますことを要望します。

●現在の土地利用構想図を見て1番違和感を覚えたのは中心市街地でした。体感が必要な文化拠点(ラディアンや吾妻山)は確かにその場所へ足を運ぶのは変わらないと思いますが、ICT化が進めば軸を中心に町内に点在するたくさんの場所が繋がるイメージです。

●公共施設の統廃合に関しては、残す施設だけでなく廃止する施設にかかる費用や長期的なメンテナンス計画も含めて初めて持続可能な目標となりうる。考慮されたい。

●現在、観光協会組織強化等検討委員会で議論し始めた、二宮町の豊かな自然、風土を活かした、共生が可能で応分な観光地化を目指すことはサステナブルな町づくりには必須と思われます。公益性を重視して、観光戦略の方向性を第六次二宮町総合計画の基本計画に組み込む必要があると思います

●各町民アンケートの意見を吸い上げて今後の町づくりに反映することは重要ですが、多数決で町の方向性を決定するわけではないので行政の責任者、幹部は基本計画設定に情報の入手と正しい選択に向けてよろしくお願ひします。

●今後、基本計画に落とし込んでいくときに「施策横断型」で展開していくとのことでしたが、イメージがつかみにくく感じています。今回の議論の中心である「基本構想」では必ずしも反映する必要はないと思われますが今後の作業のためにも施策横断のイメージを委員会内で共有できればありがたいです。

●4の土地利用構想に関連して、耕作放棄地を利用してソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）+環境再生型農業ができないでしょうか。